

# MRワクチン不足にかかる 対応について（報告）

兵庫県 健康福祉部 健康局疾病対策課

第18回 厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会  
研究開発及び生産・流通部会  
日時 平成30年6月6日(水) 17:00～  
場所 厚生労働省内 会議室

## 背景

### MRワクチンの自主回収

平成27年10月、北里第一三共ワクチン(株)が製造するMRワクチンについて、力価低下があることが判明したため自主回収。

※その後、力価低下の原因が究明されたため、製造が再開され、平成30年4月に出荷が再開されている。



# 経緯

- ① 平成28年8月中旬以降、関西国際空港利用者、事業所職員を中心に麻しんの集団感染が発生
- ② 平成28年9月、尼崎市内において、複数の麻しん患者が発生



特に大阪・兵庫を中心にMRワクチンの  
需用が増加

## 対応① ～情報共有～

### MRワクチンの供給状況・供給予定の情報提供

- 時期：平成28年8月下旬～
- 県内の一部市町・医療機関より、MRワクチンの入手が難しくなっている旨情報提供あり
- 厚生労働省へ状況を報告
- ワクチン製造メーカーに出荷計画等を確認し、市町、県医師会へ情報提供

## 対応② ～関係者会議～

- **ワクチン供給会議(県薬務課主催)**  
日時:平成28年10月18日  
参集:兵庫県医師会、県医薬品卸業協会、ワクチン製造メーカー、県薬務課・疾病対策課
- **MRワクチン供給にかかる関係者打合せ会議**  
日時:平成28年11月11日  
参集:兵庫県医師会、県医薬品卸業協会、MRワクチン製造メーカー、県薬務課・疾病対策課
- **ワクチン供給会議(兵庫県医師会主催)**  
日時:平成28年12月8日  
参集:兵庫県医師会、県郡市区医師会、疾病対策課

## 対応③～定期接種実施状況の把握～

### 第1回目調査(9月末時点)

- 対象者数
- 月別定期接種実施状況(平成27年度・28年度)
- 月別MRワクチン出荷数(平成28年度)

### 第2回目調査(12月末時点)

第1回目調査に加え、

- 定期用ワクチンの購入主体
- 月別MRワクチン出荷数(平成27年度)
- MRワクチン市場流通在庫量(卸・医療機関:12末時点)

### 第3回目調査(H29.3月末時点)

- 対象者数
- 月別定期接種実施状況(平成28年度)
- 月別MRワクチン出荷数(平成28年度)

## 第2回目調査結果(概要①)

月	定期接種者数		MRワクチン 出荷量	定期接種以外 使用本数	参考：MRワクチン 出荷量(H27)
	1期	2期			
4月	3,511	4,317	9,434	1,606	7,475
5月	3,566	3,938	8,207	703	6,325
6月	3,816	5,315	9,601	470	8,830
7月	3,518	4,331	8,043	194	7,919
8月	3,415	4,388	8,244	441	7,787
9月	<b>5,090</b>	<b>4,570</b>	<b>11,751</b>	<b>2,091</b>	6,952
10月	3,485	2,882	9,209	<b>2,842</b>	8,109
11月	3,053	2,617	6,641	971	6,212
12月	3,087	2,088	5,851	676	5,272
合計	32,541	34,446	76,981	9,994	64,881

- ・ワクチンについては、各月ともH27年度より多く出荷されている
- ・不足感のあった9月の定期接種数は増加、9・10月の任意接種も増加

## 第2回目調査結果(概要②)

### 1 麻しん定期接種の状況

	平成28年度		平成27年度	
	1期	2期	1期	2期
定期接種対象者数	44,726	48,596	45,239	48,419
定期接種者数(4～12月)	32,541	34,446	32,014	34,698
定期接種予定者数(1～3月)	<b>12,185</b>	<b>14,150</b>	—	—
接種率(12月末時点)	72.8%	70.9%	70.8%	71.7%

### 2 MRワクチン流通状況等

県内市場流通在庫数 (12月末時点)	1～3月流通見込み数 (H27実績より)	合計
10,318本	約21,000本	<b>31,318本</b>

- ・1期接種率は前年を上回る、2期接種率は前年を下回る状況。
- ・未接種者26,335人に対し、接種可能ワクチン本数31,318本と推計。
- ・ただし、市町別にみると接種率にバラツキあり。

## 対応④ ～関係者への周知・依頼・要望～

- H28.9.9: 厚生労働省→都道府県、(公社)日医、(一社)日本医薬品卸売連合会、(一社)日本ワクチン産業協会  
「麻しんの広域的発生に伴う乾燥弱毒性麻しん風しん混合ワクチンの供給にかかる対応について」
- H28.10.31: 疾病対策課→県内大学、短期大学、専修学校、各種学校  
「麻しん・風しんの予防接種の実施について(協力依頼)」 任意接種について
- H29.1.27: 厚生労働省→都道府県→関係者(市町、県医師会、県医薬品卸業協会)  
「麻しん及び風しんの定期接種(第2期)対象者に対する積極的な接種勧奨並びにワクチンの供給等について」
- H29.2.16: 近畿2府6県→厚生労働省健康局長  
「麻しんワクチンの不足について(要望)」 経過措置を要望

## 対応⑤ ～MRワクチン供給調整～

- **国への緊急供給調整依頼: H28.9.14**  
尼崎市内における麻しん患者複数発生に伴い、1期対象者用のMRワクチン300本を供給調整依頼
- **個別調整の実施: H28.9月下旬～**  
ワクチン不足医療機関からの相談に対し、①最終納品日と納品本数、②現在の在庫本数、③必要本数、などを確認のうえ、県を通じ県医薬品卸業協会へ納品状況の改善を依頼。
- **MRワクチン供給調整の実施: H29.2.13～**  
市町において管内の調整実施後、年度内の不足が見込まれる場合に、県を通じ県医薬品卸業協会へ供給調整を依頼。

(第8種感染症認可)

小学校全直前の1年間に接種が推奨され 伝える仕組みを初めて整えた。しかし、風疹を  
 ている。種混合MRワクチンの不足が懸念 予防するMRワクチンは今月末まで就学前見  
 される。として兵庫県は各市町の接種を促し、重の接種が集中するが在野での集団感染など  
 県医薬品卸業協会に対し優先する供給先を 優先的に供給不足が続いている。(山形県) 乗の出した。  
 MRワクチンを選ん 4歳や6歳児医師会  
 ては2015年10月、 調整の仕組みは、予  
 メーカーのうちの1 給不足で定期接種を受  
 社が効能不足で出荷を 療機関が、所在の市町  
 停止。さらに昨夏、関 けられなかった場合、  
 西空港の集団感染を接 3月末までと同様の対  
 種希望者が増えた。 調できない場合、県  
 県が昨年末、市町や 対応を取るよう求め  
 医師会、卸業者に調査 ている。県が県医  
 した結果、道庁管内 品卸業協会に対し、不  
 で月に数百程度の任 足する医療機関への優  
 意接種が、昨年9、10 先出荷を要する。  
 月は2千件以上に上 したが、定期接種の希  
 り、就学前の定期接種 要請している。未接種  
 分が不足する原因にな できるかは未だ知数。  
 った。 できる限り早い時期に  
 就学前に接種する 4月以降は任意接種の  
 るワクチンのうち「2 予約をしてほしい」と  
 期」は小学校入学前 扱いとなり、約1万回  
 年間で例年、2、3月 呼び掛けている。  
 は県内約4万9千人 兵庫県によるワクチン供給調整の仕組み  
 で、昨年末時点で1万 備蓄し、医療機関など  
 4千人余りが未接種た の発注に応じて出荷  
 った。 行政側が流通を把握  
 県内では平時時、卸 することはないが、供  
 業者6社がメーカーか 給不足の懸念と地域に  
 か よる供給量に差がみ  
 られるため、県が対応に  
 が必要になる。また、  
 接種に伴い健康被害が  
 出た場合の補償にも大  
 きき差が出る。

## 3月末の就学前 接種期限迫り

# はしかワクチン 異例の供給調整

### 兵庫県

## 不足医療機関に出荷要請

兵庫県の医薬品卸業協会

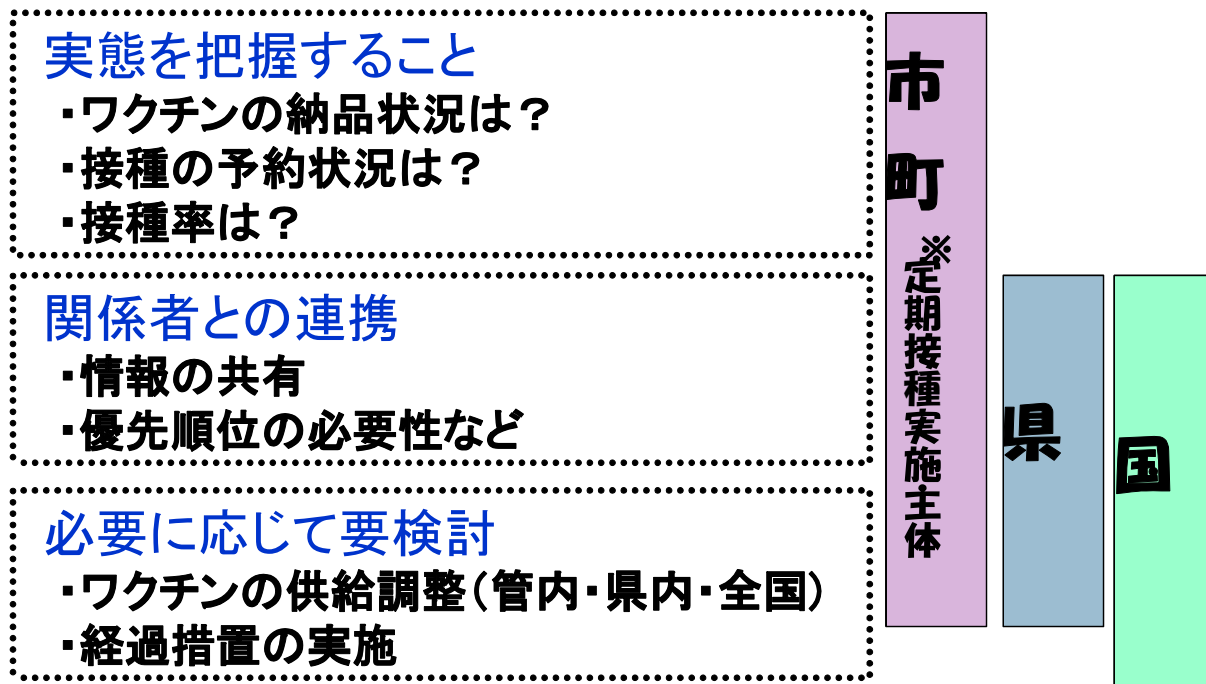
神戸新聞(朝刊)  
 平成29年3月7日

## MRワクチン供給調整(実績) H29.2.13~

2市について、計72本のワクチンを調整。  
 依頼分について、県医薬品卸業協会会員各社を  
 通じ速やかに納品された。

市町名	市町からの依頼日	供給調整本数
小野市	H29.3.1	36
加古川市	H29.3.3	27
加古川市	H29.3.14	9
合計		72

# MRワクチン不足懸念を経験して



## 最近のワクチン状況について

### ● 日本脳炎ワクチン (H29.5～)

製造販売を行っている2社のうち1社で災害により一時的に製造を中止。

- ※ H29. 5. 8付けで厚労省から事務連絡
- ※ H29. 6. 22付けで厚労省から事務連絡【調査依頼】
- ※ H29. 11. 24付けで厚労省からの事務連絡
- ※ H30. 1. 15～出荷再開

### ● 季節性インフルエンザ (H29.9～)

ワクチン製造株の決定遅れのため、供給量の減少が懸念。

- ※ H29. 9. 15付け通知「季節性インフルエンザワクチンの供給について」
- ※ H29. 11. 6付けで厚労省から事務連絡 (13歳以上の者の1回接種徹底)



確実に定期予防接種を  
実施するため、関係者  
の皆様のご協力を  
お願いします。

